

ふかまちのまど

第六〇号 〇七年九月日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 六三三三八八二

町内会連合会活動報告

町内会連合会

会長 秋本賢治

一、やっさ祭り参加 (八月十一日)

第三二回三原やっさ祭りに、「深町連合町内会&さんさんサングライズチーム」として、総勢一三六名(深町民約二十名を含む)で出場しました。
サンライズ大池の本井施設長を先頭にして、「やっさ踊り」をみんな元気いっぱい楽しみ、心地よい汗を流しました。
今年は第二十一位と健闘しましたが入賞を逃しました。来年は上位入賞を目指して練習に励みたいと思います。



二、盆行事 (八月十五日)

恒例の盆行事を実施しました。早朝八時の準備に始まり、九時半より猛暑の中を町内巡回太鼓踊りには大勢のお迎え、又多大の接待有り難うございました。夕方には十二名の新仏への黙祷から始まりました。太鼓踊り、獅子舞に続き、盆踊り入り、櫓の上での口説き、囃子、太鼓に合わせて櫓を囲んで、大勢の踊り手で盛り上がりました。
最後のビンゴゲームには三〇〇余名の参加がありました。各種団体の方々、町内の皆様には多大なるご協力有り難うございました。

深町子どもを守る会

子どもを みんなで守りましよう



〇午後四時十五分頃 下校します。

※日によって、異なることがあります。

〇近くで、遠くで、みんなで見守りましよう。
〇あいさつ、声かけをしましよう。

女性会だより

ぷりていウーマンより

深町女性会 辻本忍



盆行事において出店では、皆様のご協力ありがとうございました。

おかげさまで、焼きそば・あげたこ・フライドポテトを完売することができました。

そして、くじ引き、射的が子供さんに好評で、楽しんでいただけただけではないでしょうか。なお、いたらない点があったと思いますが、ご容赦願いたいと思います。

深小だより

平成十九年度第一回 深町子どもを守る会開催

深小学校校長 山本恵司

七月二十日(金)十九時より本校校長室におきまして本年度第一回子どもを守る会を行いました。

この会には町内会をはじめ各種団体長・防犯及び地域安全推進委員・民生児童委員・学校評議員・PTA役員など総勢十九名の参加のもと話し合いを行いました。



協議内容は、児童の登下校の様子・夏休みの生活などについてでした。貴重なご意見をいただく中で、あいさつを引き続き大切に声を掛け合っていくことになりました。子どもたちの登下校時にあいさつをかわしていただけとありがたかったです。

「広島っ子と心を結ぶ声の掛け合い運動」として広島県女性会による取組みがあります。深町女性会の皆さんも九月より第一と第二の木曜日に声掛け運動をされます。

九月といえども残暑も厳しいです。学校生活のリズムを取り戻そうと疲れやすくなる時期ですが、あいさつをかわすことで元気になるといいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

深小PTAだより

PTA活動について

深小PTA 保健福祉部 林 久美

初めての部長で何も分らず、先生や部員の皆さんに助けて貰いながら今年保健給食部部長をさせて頂いております。



六月に給食試食会を開催し、子供達が日ごろ食べている給食を体験し給食の風景を見学しました。私が食べていた頃の給食より、今の給食はとておいしく驚きました。先の分かれたスープンとアルミのお皿はとても懐かしかったです。皆さんも機会があれば参加して見て下さい。一月の市P連バレーボール大会に向けて九月から練習を始めたいと思っております。バレーに興味のある方、日頃から体を動かしたいと思っている方、他いろいろ参加して頂ける方を募集していますので、ぜひよろしくお願ひします。

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ

プレートの上に乗るわが国は
どこが揺れても
不思議なき日々



台風が無事に過ぎたと見回れば
大き栗の木横になりいる

夕暮れに仲間集えば賑やかに
炭で焼肉ビール楽しむ

謹んでお悔やみ申し上げます

玉江 正造 様 五一歳
(中組 東峠講) 八月二四日

深町各種団体九月行事予定

- ◆町内会連合会
- ▼深町敬老会 十七日
- ▼体育委員会 未定
- ◆小学校・幼稚園
- ▼始業式 三日
- ▼参観日・修学旅行説明会 六日
- ▼テーマタイム 七日
- ▼貯金日・集金日 十日
- ▼諸雑費集金日 十日
- ▼修学旅行 十三〜十四日
- ▼びよびよハウス 十四日
- ▼保健指導 十八日
- ▼お楽しみ会 二十一日
- ▼敬老参観日 二六日
- ▼社会見学 二八日
- ◆如水館中学・高校
- ▼運動会(中・高) 二二日

展望席

仲秋の名月、太陽の季節が終わり、秋の訪れとともに月が特に美しく見える頃となりました。四季折々の月に対する日本人の関心は深いものがあると思います。夢・愛・安らぎ・哀愁・悲恋・恨み・悲しみ等々。子供の頃は、月で兎が餅を搗いていると本気で思ったりしましたが、昭和四十四年七月、アポロ十一号が月面に着陸し、月への幻想は完全に消えてしまいました。

今年六月、月周回衛星「セレーネー」の愛称が、「かぐや姫」にちなんで「かぐや」と決まりました。かぐや姫は、月の国のお姫様で、光輝く美しく可愛い女性というイメージがあります。ところが、このかぐや姫は、月の国で罪を犯した不良少女で、その罪の償いのため人間界に降りてきました。かぐや姫に求婚する五人の貴公子達に、無理難題を出して五人とも破滅(その中の一人は命を落としました)させた冷酷非情な女性です。江戸の川柳「五人男をへこましたる赫耶姫(かぐやひめ)」。竹取物語をよく読んでみると、はたして「かぐや」は月周回衛星にふさわしい愛称なのか?

一方、この竹取物語の裏には、作者の権力者に対する批判や反抗精神がうかがえます。

近頃は日本の昔話を、あまり知らないという子供が多いと聞きます。昔話には、日本人の心や智慧が何処かに隠されているように思います。時には童心にかえって子供と一緒に昔話を讀んだり、月を仰ぎ見ながら物思いに耽つてみると、何か隠れた真実が見えるかもしれませぬ。

